

# 五色池通信

255 2005年10月4日発行

中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-9188

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>

## 10月23日(日) 中土手五色池

10:00 ~ 2:00

カンタンの音を聞く

弓矢で遊ぶ!

持ち物: おにぎり、トン汁の具、おわんとはし、  
水筒(飲み物)、よごれてもいい服とクツ、帽子、

五色池の周りは、秋の虫たちでいっぱい。アカトンボが飛び交い、草むらではコオロギの合唱。池の周り一帯は草刈りしているので、背の低い草が生えそろう、イナゴやバッタ、カマキリなどの昆虫がたくさんいます。大型のトノサマバッタやショウリョウバッタ、チョウセンカマキリなどもたくさん見かけます。コオロギ類では、日本では



最も大型のエンマコオロギがきれいな声で鳴いています。また、お彼岸を過ぎて涼しくなると、天気がよければ、カンタンやヒロバネカンタンが、昼間から鳴きだします。鳴く虫の達人・石水さんに虫のとり方や飼い方を教えていただきます。

## 荒川ロックゲート完成記念 自然観察・体験会

10月8日(土) 午前10時~

Eボートでロックゲート通過

投網体験・指導、野鳥観察

集合場所: ロックゲート上流河川敷

参加費: 無料(なお、小学3生以下は保護者同伴で)

持ち物: 弁当、飲み物、観察用具、着替え、履替え、タオル、  
帽子、手袋など(注意: 汚れても良い服装や履物で)

参加者には荒川の自然が良くわかり勉強になる資料を贈呈。

主催: あらかわ学会自然環境委員会

連絡先: 03-3654-7240 佐藤正兵



## 中秋の名月



9月18日、当日は中秋の名月。五色池周辺にはススキがたくさん生えていますが、道路近くのススキはほとんど穂が見当たらないほど刈られていました。でも、近年はススキの株がたくさん増えたので、いくらとってもなくなることはなく、参加者もそれぞれ持ち帰りました。この夜は、ススキを飾って、非常にきれいな月を見ることができました。

今回はエコセンターの自然学校として宣伝したのですが、3連休の中日とあって、参加申し込みはわずかでした。それでも、いつものようにブルーシートで作るタープを張って、今回は、弓矢に取り組みました。テレビの「義経」に影響されてか、子どもから矢立がほしいと要望され、竹筒で作ってそれらしく肩に背負いながらの弓引きです。



「目を回して」トンボを捕ろうとする石水さん

トンボがたくさん飛んでおり、ウスバキトンボのほか、アキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボなどが見られました。

鳴く虫の達人、石水さんに教えてもらって、傘を逆さに広げて、カントンを捕まえ、家に持ち帰

りました。うまく鳴いてくれるかな。

五色池は、ヒメガマがたくさん茂っていましたが、近年はヨシが次第に繁茂して、ヒメガマを圧倒しています。それでも秋になると、ヒメガマもフランクフルトのような穂をあちこちに見せています。晩秋から冬になると、白い綿毛を飛ばす光景がみられるでしょう。ヨシが硬くなって、ヨシズを編む材料として十分に硬くなっていました。セイタカアワダチソウも茎が硬くなってきて、スタレの材料としても大丈夫そうです。オギの茎もきれいな肌を見せています。小学生の子どもたちが、ヨシズを編んで持ち帰ります。大人は、ミニヨシズ作りで、ヨシのほかにセイタカアワダチソウやオギを材料にして、小さな壁飾りのスタレを作ったりしています。道具も材料も中土手には揃っていますので、いつか作ってみてください。

山本さんが、コガネグモとナガコガネグモを捕まえて、けんかをさせていました。



傘を逆さにして、草に止まっている虫をゆすり落としていたら、大きなチョウセンカマキリが入りました。

